

## 出前講座「砂防堰堤の機能、役割について」

- 開催日時：令和元年11月6日（水） 13時30分から16時20分
- 開催場所：西根床固工群、二双沢砂防堰堤、洞ヶ沢東沢第1・第2砂防堰堤、小水無沢第1砂防堰堤、イーハトーブ火山局
- 参加者：岩手大学農学部1年生30名、先生1名

11月6日（水）に岩手大学農学部1年生30名を対象に、砂防学実習として八幡平山系の砂防施設について出前講座（現場見学）を行いました。

はじめに「西床固第1・第2堰堤」を見学し、岩手山の火山噴火や土砂災害から下流にある八幡平国際交流村や人家等を守る役割についてや、この堰堤は二双沢溪流に岩手県産のカラ松間伐材を利用した日本国内でも珍しい枠組み石詰め工法によるものという説明を受けメモを取りながら熱心に学習していました。

2箇所目は、「二双沢砂防堰堤工事」を見学し、基礎地盤改良（中層混合処理工法 WILL 工法）について説明を受け、初めての砂防工事現場を熱心に食い入るように見ていました。

3箇所目は、「洞ヶ沢東沢第1・第2堰堤」を見学し、八幡平パノラマラインに近接する堰堤下流側への景観を配慮した修景盛土の現場を見学しました。

4箇所目は、「小水無沢第1砂防堰堤」へ現場見学に行き、平成25年の大雨の際に土石流が発生し、大きな石や流木が砂防堰堤にせき止められたことをパネル等により説明を受け、砂防堰堤の役割を学習しました。

また、川に下りて川底から砂防堰堤を見上げ、砂防堰堤の大きさを実感し、鋼製スリットの大きさを計測したり、土石流が発生した際に感知する土石流センサーの役割を学習しました。

最後は「イーハトーブ火山局」にて岩手山の模型や展示パネルなどで『火山活動と火山防災』について学習していました。

今日の出前講座を通じて学生の皆さんには、自分達が住んでいる地域にある岩手山が噴火した際にどんな災害が発生するのかや土石流から地域を守る砂防堰堤の機能や仕組み、景観に配慮した砂防堰堤の取り組みなどを見ることで、砂防事業の目的を少しでも理解いただけたなら幸いです。



見学状況（西床固第2堰堤）



見学状況（小水無沢第1砂防堰堤）